



# 一般県道一志出家線（中川原橋）道路改良事業

## < 事業目的 >

円滑な自動車  
交通を確保

歩行者の  
通行空間の確保

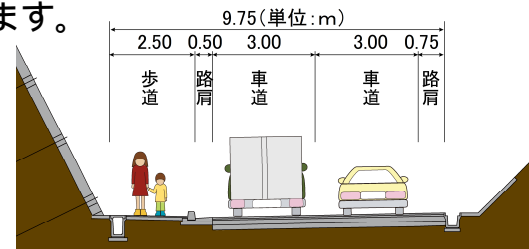
橋梁の老朽化  
対策



## < 事業の概要 >

一般県道一志出家線は、国道165号と津市一志町とを結ぶ幹線道路です。津市庄田町では道路幅が狭く、雲出川を渡る中川原橋も架橋後60年が経過し老朽化しているため、中川原橋の架け替えを含めた道路改良事業を行っています。

事業期間	H18年度～
全体事業費	38億1千万円
事業延長	L=1.3km
計画幅員	W=6.0(9.75)m
主要構造物	橋梁2橋



## < 進捗状況 >

・R2年度末時点での進捗率は約44%です。



## < 整備効果 >

- ・車道の2車線化により、渋滞の緩和など自動車や道路利用者が円滑に移動できる道路環境にすることができます。
- ・歩道の設置により、安全な歩行空間が確保できます。
- ・中川原橋の耐震化により、地震や風水害など災害時にも利用できる道路ネットワークが構築できます。

## < 現在の状況 >

- ・R3年9月に歩道の一部を供用しました。
- ・R3年10月に道路工事を契約し、進めています。

